資料５

議題５　新型コロナウイルス感染症の流行下での避難情報発令時の住民の在宅避難及び車中泊での避難に関して（豊田市提出）

市名	回答			
	（１）在宅避難の周知	（２）		（３）車中泊の管理体制、マニュアルや啓発チラシ等の整備の有無
		ア．車中泊避難の考え方	イ．車中泊への対応について考えている取り組み及び進捗状況	
名古屋市	在宅避難を実施するにあたり検討いただきたい内容や準備していただきたい物について、市公式ウェブサイトやSNS、広報誌を通して啓発しております。	推奨していない	避難所への車での避難については、避難所ごとの管理組織において車での避難の有無について検討しているため、今後の話し合いを通じて検討していく。	×
豊橋市	別添、４月２１日　報道発表資料参照	エコノミー症候群のリスクや緊急避難時に水没や渋滞のリスクがあることから本市としてはマイカー避難を推奨していない。ただし、やむなく感染症を避けるために車中泊を選択した場合は保健師等の巡回検診によりリスクの軽減を図る。	６月１３日に感染症対策を考慮した避難所開設訓練を実施し、車中泊者への保健師の巡回検診訓練を実施した。	○
岡崎市	自宅を含めたマルチ避難を広報紙（市政だより）６月号で周知。	エコノミークラス症候群等を危惧するため車中泊は推奨していないが、今後対策については検討する必要がある。		×
一宮市	避難所が「密」にならないよう、安全な場所であれば在宅避難や親戚・知人宅の活用を検討するよう、出前講座やウェブサイト等で啓発を行う。	健康面など、課題が多いことから、積極的な推奨はしていない。	食糧や物資の必要数を把握するため、名簿への登録を求めるほか、車中泊での注意点などを呼びかける。	×
瀬戸市	命を守るには、どのような行動をとり、また事前の準備はどのようにすべきかを簡潔にまとめた冊子の全戸配布	特になし	特になし	×
半田市	自宅で安全が確保できる場合には、避難所へ行く必要がないこと、また避難所以外の親戚・知人宅への避難を検討するよう、市報やＨＰ等で周知している。	積極的に推奨していない。	特になし	×
春日井市	市ホームページや市広報誌での避難行動判定フローの周知による啓発を行った。	地震発生時や道路冠水時など、車での避難に適さない可能性が多数想定されるため、自家用車での避難所への避難を推奨していない。	新型コロナウイルス感染症対策として、密にならない避難として車中泊は有効と考えているが、各避難所における駐車スペースの確保等の問題があり、対応は定まっていない。	×
豊川市	「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた災害時の避難における『知っておくべき５つのポイント』（内閣府チラシ）」を市ホームページに掲載、また、とよかわ安心メールでも発信。避難所に行くことだけが避難ではないことをＰＲしている。	積極的に推奨しているわけではありません。	現時点では特段考えておりません。	×
津島市	市のＨＰや広報誌で周知を行っている。	積極的な周知は行っていない。	小学校のグラウンド等を利用した車中泊スペースの確保を検討しているが、進んでいない。	×
碧南市	安全であれば在宅避難を原則とすること、在宅避難に必要な備え（家具の固定や食料等の備蓄）について、広報や防災メール（登録制）、ホームページなどで周知している。	積極的に周知はしていないが、有効であると考えている。	有効であると考えているが、現状、具体的に取り組んでいる施策はない。	×
刈谷市	在宅避難を含む新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難のあり方について、市民向けのメール配信サービス等で周知をする予定です。	選択肢の１つとしての周知を行います。	車中泊用スペースの確保を検討しています。	×
豊田市	豊田市では、車中泊には、エコノミークラス症候群等、健康面の課題もあることから、積極的に推奨するものではないが、３密を回避するための、避難行動の選択肢の一つとして市民への周知を行っている。	積極的に推進はしていない	避難行動の一つとして周知を行っている。	×
安城市	8/1号広報にて　コロナ時の避難の在り方について掲載	分散避難としては、有効と考えれるものの、エコノミークラス症候群・熱中症・水害時の避難など課題もあるため推奨はしていない。	市としては車中泊やテント泊は推奨していないものの、実際の災害時は多いことと思う。そのため、避難場所の想定や受付の方法等の整備は最低限検討しておく必要があると考えている。	×
西尾市	コロナ禍における防災訓練の実施についての通知とあわせて自主防災会長に住民への周知をお願いするとともにホームページでの周知を図っています。	熱中症やエコノミークラス症候群等のリスクはありますが、避難所での三密状態を避ける上で有効な避難方法の一つと考えています。	避難者を把握するための名簿、車中避難時注意点のチラシについては作成しています。	○

資料５

議題５　新型コロナウイルス感染症の流行下での避難情報発令時の住民の在宅避難及び車中泊での避難に関して（豊田市提出）

市名	回答			
	（１）在宅避難の周知	（２）		（３）車中泊の管理体制、マニュアルや啓発チラシ等の整備の有無
		ア．車中泊避難の考え方	イ．車中泊への対応について考えている取り組み及び進捗状況	
蒲　郡　市	広報誌（８月号にて掲載予定）、チラシ（６月末回覧）・ホームページ（公開中）・登録制配信メール（毎週定期配信）において、「災害ハザードの確認」、「在宅避難の提案」、「自宅の耐震改修等による環境整備の呼びかけ」、「避難所での感染症対策グッズ」について周知している。	必要とは感じているが、現状、積極的な推奨は行っていない。	現時点で特に取り組んでいることはなく、今後検討していく。	×
犬　山　市	広報や市ホームページにて「正しい避難」について啓発を行い、必要のない避難は極力避けるよう、市民に呼び掛けています。犬山市では、避難の必要性やタイミングを確認できる「犬山市防災ハンドブック」を全戸配布しており、各ご家庭で確認ができる環境を整えています。	積極的に推奨はしていませんが、避難方法の一つとして認めており、広報で車中泊避難についての注意点を啓発しています。	学校の運動場等の指定避難所の敷地内で車中泊避難をする際は、施設内の担当者に声をかけてもらうこととしていますが、車中泊避難者に対しての対応についての取り決めは特段していません。	×
常　滑　市	災害時の選択肢の一つとして、広報誌や市HP、地区の防災訓練で周知している。	選択肢の一つして紹介しており、積極的に推奨はしていない。	エコノミークラス症候群の対策として、医療救護所の設置場所となっている避難所の備蓄品に、医療用ストッキングを276足購入した。	×
江　南　市	広報及びHPで市民に周知しています。	災害時の避難方法の一つであると認知しているが、積極的に推奨はしておりません。	現在車中泊についてのマニュアルの整備等は進んでおりません。	×
小　牧　市	市ホームページで在宅避難を含めた分散避難の考え方を市民へ周知している。	災害時、車中泊をされる避難者が出ることは想定しているが積極的な啓発は行っていない。	車中泊できる場所の確保など具体的な内容までは検討していない。	×
稲　沢　市	市公式ホームページにおいて周知している。また、広報８月号においても周知する予定である。	積極的な推奨はしていない。	・避難生活用テントの購入、平成３１年度より６か年計画で指定避難所４０か所に備蓄 ・平成３０年４月に避難者のエコノミークラス症候群対策として、避難所におけるあん摩マッサージ、指圧、はり及びきゅうの施術並びに療養上の相談の支援に関する協定を一般社団法人愛知県鍼灸マッサージ師会一宮支部と締結している。	×
新　城　市	各家庭に配布している防災行政無線個別受信機で周知。	避難所や公共施設のグラウンドなど開放をしていく	特に行っていない。	×
東　海　市	ホームページ、広報により周知済み。	推奨はしていない。	特になし	×
大　府　市	在宅避難について、「大府市防災ガイドブック」や出前講座等で積極的に啓発している。	エコノミー症候群等の罹患影響があるため、積極的に推奨していない。	自宅における車中泊は自宅避難者と同様対応で考えているが、車で避難所に来た避難者は、市外在住者や帰宅困難者等、避難所を転々としているか不明ではあるものの、他の避難者同様の対応をしなければならないものとも考えている。	×
知　多　市	市広報やコミュニティ単位の防災訓練、地区の訓練・出前講座により周知する。	積極的な推奨はしないが、やむを得ず車中泊避難をする場合の注意事項等を周知する。	避難所利用者登録票で管理する。 各避難所の情報掲示板に啓発予防のルールを掲示する。	○
知　立　市	市ＨＰにて避難所での３密を回避するため、自宅の耐震化や家具の固定、食料等の備蓄などの対策をすることで、在宅避難することを啓発している。	今後、積極的に推奨することを検討している。また、市ＨＰにてエコノミー症候群を予防するための対策（軽い運動やこまめな水分補給など）について掲載をしている。	比較的大規模な駐車スペースやオープンスペースを所有する近隣事業所などに対して、当該箇所を車中泊スペースとして利用できるよう、今後協議を進める予定。	×
尾 張 旭 市	広報等を用いた周知を行う。	エコノミークラス症候群等の危険性は依然としてあるため、積極的に推奨するものではないが、やむを得ない場合は認める。	具体的な取組等は考えられていないが、避難所ごとにルールを定めていくことになると思われる。	×
高　浜　市	避難所の選択肢として市のホームページで記載。（お願い事項として記載）	避難所の選択肢として市のホームページで記載。（お願い事項として記載）	特になし	×
岩　倉　市	感染リスクを低減させるため、避難の必要のない場合は、できるだけ在宅避難をするように広報を通じて周知しています。	積極的に推奨はしていないが、短期避難においては有効であると考えています。	一定の駐車ができる避難所をあらかじめ想定し、災害時に迅速な誘導ができるような準備を進めています。	×

資料５

議題５　新型コロナウイルス感染症の流行下での避難情報発令時の住民の在宅避難及び車中泊での避難に関して（豊田市提出）

市名	回答			
	（１）在宅避難の周知	（２）		（３）車中泊の管理体制、マニュアルや啓発チラシ等の整備の有無
		ア．車中泊避難の考え方	イ．車中泊への対応について考えている取り組み及び進捗状況	
豊　明　市	市は在宅避難を推奨しており、それを可能にするために、広報誌に毎月啓発の特集記事を掲載しているほか、備蓄品等について掲載した冊子（防災手帳）の配布や、地域役員への情報提供に努めています。	感染症対策の一環として車中泊避難を積極的に認めています。受入れ場所は避難所（学校）のグラウンドを基本とします。	避難所内での事故防止のためテント泊や歩行者と動線が被らないよう配慮します。また、エコノミークラス症候群対策として、注意喚起のチラシ（県避難所運営マニュアルに掲載されているものであるため、下記（3）の提供は省略）配布や、定期的に運動するよう声かけをします。	○
日　進　市	自宅での安全確保が可能な場合は、自宅での在宅避難や安全な地域にお住いの親戚や友人の家などへの避難の検討を推奨。 また、各家庭での備蓄の必要性についてホームページにて周知。	車中泊は推奨しませんが、車中泊が増えることが想定されるため、学校の場合は、車中泊に備えたグランドの開放を検討します。	車中泊の避難者がいた場合は、グランドに案内するが、事前受付による体温や体調の確認を行う。	×
田　原　市	・回覧、HPによる周知 ・今後、広報誌防災特集、防災ガイド改定時に項目追加を検討	避難の一例として挙げるが、健康面の課題もあるため、積極的な推奨は行わない	広場等の応急・復旧用以外のオープンスペースを車中泊用に開放	×
愛　西　市	市HPや市広報等で在宅避難が可能な場合の協力について周知している。	今般の感染症に限らず、熊本地震でも車中泊避難については課題になっているところと承知しているが、現時点で詳細な考えはない。	車中泊対応マニュアルを今後整備していく予定。	×
清　須　市	広報紙（７月号）で在宅避難の周知を実施。また、全戸配布している「水害対応ガイドブック」の中で、在宅避難をする際の注意点を掲載し、在宅避難の啓発を行っている。	内閣府（防災担当）・消防庁が作成している「知っておくべき５つのポイント」の内容のとおり、積極的に推奨はしていないが、やむをえず車中泊をする場合には、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認するように呼びかけている。	避難所の近辺で車中泊を行う避難者に対しても、避難所と同様、健康状態の管理などを適切に実施することを、現在策定を進めているコロナウイルス感染症に対応した避難所運営マニュアルに盛り込む予定。	×
北名古屋市	家具の固定について、防災講話等で日頃から住民への啓発を行っている。	検討中。	検討中。	×
弥　富　市	広報等で、災害時に本当に避難が必要かどうかを改めて確認していただき、自宅の２階への避難（垂直避難）や、親戚や知人の家などへの避難（縁故避難）を考えていただくように啓発。	積極的に推奨するものではない。	・車中泊者も避難所運営に携わるように避難所運営マニュアルに位置付けしている。 ・できるだけ避難所に移ってもらうよう促す。	×
みよし市	避難の１つの方法として検討してもらうよう広報及びHPで周知	避難の１つの方法として推奨	３密を避けるための避難行動の１つとして推奨するが、エコノミークラス症候群等の健康面の課題については検討中。	×
あ　ま　市	広報紙や公式ウェブサイトにより周知を図る	積極的には推奨していないが、避難所の入所状況次第では車中泊避難をお願いすることになると考えている	車中泊をしている方にも物資の供給が行き届くよう、避難者として登録していただくようにしている	×
長久手市	広報、ＨＰで推奨はしているが、支援物資提供等は検討中であり特に情報提供等は行っていない	積極的に推奨はしていないが、検討している。	車中泊のための場所を貸してもらう内容を含んだ協定を事業者と締結し、避難者が使える電源の確保等ができるようにする予定（未締結）	×